

1 国語に関する調査

【特長】

- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
- ・自分の考えが伝わるように文章を書くため、図表やグラフを用いて書き表し方を工夫することができる。

【課題】

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定するなど、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読むことができるようにする。
- ・日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。知りたいことについて、聞く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりする学習を継続していく。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・日常生活において、ある数量を調べようとするときに、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。
- ・棒グラフの棒の長さに着目したり目盛りを読み取ったりすることで、項目間の関係を読み取ることができる。

【課題】

- ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。数直線上の目盛りが表す数を分数で表す活動を設定するなど、分数の意味や表し方について理解を深めることができるよう学習を積み重ねていく。
- ・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がある。数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見いだすことができるよう定着を図っていく。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識として身に付けている。

【課題】

- ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを知識として身に付けることに課題がある。身の回りで見られる事物・現象と学習していることを関係付けたり、様々な内容で習得した知識を整理したりして、物質の性質に関する理解を深めていきたい。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「将来の夢や目標を持っている」、「学校に行くのは楽しい」と回答している児童の割合が高い。将来の夢や目標に向かって、前向きに学校生活を過ごしている児童が多いと考えられる。
- 「国語の勉強が好き」と回答している児童の割合が高い。校内研究として、国語科の授業改善に取り組んできた成果であると考えられる。

【課題】

- 学校の授業時間以外の学習時間について、「1時間より少ない」や「全くしない」と回答した児童の割合が高い。放課後の過ごし方や自主学習への取り組み方について、家庭と連携して学習の充実を図っていききたい。
- 5年生までに受けた授業でのICT機器の使用について、「ほぼ毎日使用した」と回答した児童の割合が低い。ICT機器を効果的に活用した授業の機会を増やしていききたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業のはじめに学習目標を示し最後にふり返りをしっかり行うことで、学習の定着を図る。また、児童の興味・関心を高める教材の工夫を行うなどして、粘り強く学習に取り組む姿勢を育み、基礎的な知識の定着を図っていく。
- 各教科の学習と日常生活のつながりを意識した授業改善に取り組み、「学ぶ楽しさ」や「学びの有用性」をより感じられるようにする。
- ICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びと、協働的な学びの充実を図り、主体的・対話的で深い学びのある授業の実現に努める。
- 自分自身の良さに気づき、難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していけるよう、様々な教育活動の中で児童の言動の良いところを認め、励ます声掛けや関わりなどを増やしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ一緒に話をしてみてください。
- 「朝食を毎日食べる」、「早寝早起きを心掛ける」など基本的な生活習慣の定着に向けて学校でも促してまいりますが、ご家庭でも引き続きご協力をお願いいたします。
- お子さんと一緒に地域の行事やボランティア活動に参加する等して、子どもたちが地域の一員としての意識をさらに高められるように、ご協力をお願いします。